



熊本市立田迎西小学校『学校だより』

にこにこすまいる5

令和5(2023)年6月28日(水) No.2 発行: 校長 森江 史子



令和5年度 田迎西小・学校教育目標

「目標に向かって、自ら考え・判断し、喜びをもって活動する子どもの育成」





令和5年度の本校の学校教育目標です。この学校教育目標の下、全職員で子どもたちの育成に取り組んでいきます。私が本校に赴任して2年目の令和2年度に現在の学校教育目標に変更しました。「4つのまごころ」を活用した取組を始めて、今年が4年目となります。今年度も、これまでの取組を継続し、子どもたちのよりよい成長を目指していきたく思います。

この学校教育目標は、田迎西小の子どもとしてこんなふうに育ってほしいという私の願いを素直に言葉に表したものです。具体的には次のように考えています。

「目標に向かって」…何をするにしても、そのゴールが見えていないと、頑張りようがありません。子どもたちには、常にそのゴールである目標を意識して、いろいろな活動に取り組んでもらいたく思います。

「自ら考え・判断し」…持続可能な社会のよりよい担い手となるべき子どもたちにとって、情報を自ら手に入れ、それを自分なりにとらえて周りに発信し、行動していく力は、必要不可欠なものです。「自ら考え・判断する」主体性の育成は、学習指導要領や熊本市の教育理念でも大きく取り上げられている教育課題の一つです。

「喜びをもって活動する」…活動する目的には、いろいろあります。自分のため、友だちのため、学級や学校、さらには社会のため、何のために活動するにしても、その目的のために、自ら進んで、楽しんで活動する子どもたちであってほしいと思います。

学校教育目標の実現のためには、具体的取組やその取組を評価していくための指標が必要です。そこで、本校では、校訓「まごころをつくし 清らかに・伸びやかに・健やかに」にある「まごころ」を使って、「田迎西小「4つのまごころ」」を設定しています。 自分を育てる心、 ともに生きる心、 社会をつくる心、 命を感じる心、の4つです。この4つは、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の要となる「道徳科」の4つの視点と連動しています。

さらに、子どもたちが「4つのまごころ」を輝かせたときには、本校のマスコットキャラクターである「にしべえ」が「まごころセンサー」で「4つのまごころ」を感じ取ってくれます。にしべえレッド、にしべえグリーン、にしべえイエロー、にしべえブルー、4つの姿のにしべえが、子どもたちにも浸透してきています（「にしべえグリーン」のイラストに登場している二人の友達「わかば」と「まごきち」という名前です!）。この4つの色のにしべえで、4つの心を表すことにより、子どもたちの行動やその行動に伴う心をわかりやすく示す（評価・価値づけする）ことができます。子どもたちは、活動の振り返りの中で、4つのまごころをもとに、自分の成長を実感し、自分の力をさらに伸ばしていきたいという意欲をもつことができるようになってきています。

学校教育目標に向かって、今年度も、学校全体で、それぞれの学年・学級で、「まごころセンサー」が光り輝く取組を進めていきます。ご家庭でも、折に触れて「4つのまごころ」について、話題にしていただけたらありがたいです。



今年の運動会もよいお天気に恵まれました。皆様のご協力に感謝です！

昨年度に続いての5月の運動会でした。「一致団結 仲間を信じて 全カスマイル!」のテーマの下、早い学年は4月の終わりから練習を開始し、5月に入ってから本番めざして、さらに熱心に練習に取り組む姿がどの学年でも見られました。新しい学年になって初めての大きな学校行事です。運動会へ向けての練習にともに取り組んだり、運動会本番の緊張感を一緒に経験したりすることで、学年や学級として大きく成長するチャンスとなります。運動会が終わった後の子どもたちの達成感あふれる表情は、その後の学校生活へ大きな期待を感じさせるものでした。



今年度は、アフターコロナということで、来賓の方々もお呼びし、保護者の観覧時間の制限もせず、プログラムも低中高でまとめることもませんでした。多くの卒業生も顔を見せてくれました。(後片付けまで手伝ってくれた人もいて、とってもありがたかったです。) 学校行事が、いろいろな人との出会いの場ともなる、コロナ前の形に少しずつ戻りつつあることを感じました。



今年度ならではということでは、本校10周年記念の横断幕の披露を6年生にお願いしました。6つの候補の中から選ぶアンケートに協力してくれた子どもたち(子どもたちと一緒に保護者の皆様も考えてくださったことと思います。)、運動会に間に合うように横断幕を作成していただいたPTA役員の皆様、横断幕をかつこよくみんなに見せるために頑張ってくれた6年生。すべての人の思いが繋がりにあつての披露でした。本当にありがとうございました。(横断幕は、正門と南門の横に設置してありますので、来校の際にはぜひご覧ください。)



「学校樹木リレープロジェクト」で若葉小から「榊」の木がやって来ました!



「長い年月を経て守り育てられた樹木を伝統ある小学校から新設校に移植することを通して両校の交流に繋げ、学校の緑を後世に引き継ぎ、安全で快適な花と緑のまちづくりを推進し、森の都熊本の復活・定着に向けて取り組みます」という趣旨の下、熊本市が進めるプロジェクトの第一号に本校が選ばれました。5月24日(水)の運動会の振替休業日の午後に、若葉小から榊の木がやって来ました。樹木の職人さん4人で約1時間の作業でした。子どもたちには、次の日の運動会の全体練習の時に紹介しました。児童昇降口から運動場に降りる階段のすぐ横に植えられています。日当たりもよい場所なので、今後ぐんぐん成長してくれるのではないかと、思います。

また、5月30日(火)には、今回の取組について学ぶ「緑の授業」を実施しました。この授業を受ける学年は何年生がよいかを検討し、取組内容も十分理解し、これから卒業まで「榊」の成長を長く見守ることができる学年として4年生を選びました。当日は、樹木医の方が講師としてお話をしてくださり、後半は実際に榊の木を見ながらどのようにお世話をしたらよいか説明をしてくださいました。子どもたちは、とても熱心に話を聞き、質問をしていました。若葉小からは、ビデオレターも届き、子どもたちも興味をもって視聴していました。今後、榊の成長を報告するなどして、若葉小とも交流ができればと思います。



●なかなか学校だよりを発行することができず第2号が6月となってしまいました。この後、第3号もすぐに発行する予定です。今後は毎月発行を目指していきます!●というわけで、内容はちょっと前の話題となっている第2号です。●10周年記念横断幕の設置は、ちょうど下校途中だった子どもたちが結びつけるお手伝いをしてくれました。横断幕を自分が結んだことを今後も覚えておいてくれるとうれしいなあと思います。

